

事務所ビルの空調

この電気機械器具製造メーカーの支社ビルは事務所の他に製品倉庫、作業場などをもった複合ビル（5階建）です。

今回、2階倉庫を事務所に改築することとなりビル全体の使用エネルギーの約6割を占める空調費の削減に取り組むこととしました。

そこで安価な夜間電力と昼間電力のピークカット割引を利用できるピークカット型氷蓄熱空調システムを導入することにしました。

この施工例で注目されるのは、一つの部屋の空間を蓄熱式系統と非蓄熱式系統の2系統に分け、さらに室内ユニットを交互に配置するようにしている点です。

これにより、深夜作業にも非蓄熱式系統だけで空調をカバーすることができました。

【改善効果】

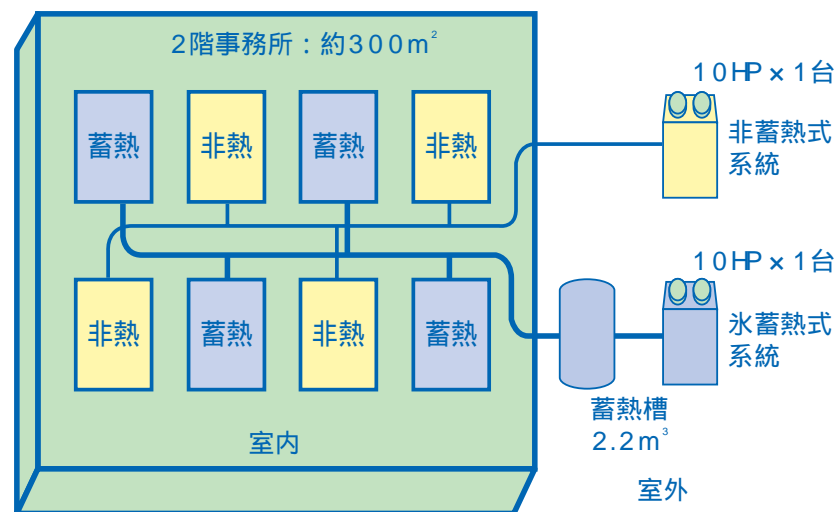
- ・業務用蓄熱調整契約の適用により電気料金が低減した。（約11万円/年）
- ・蓄熱ピーク調整契約の適用により電気料金が低減した。（約9万円/年）

【設備概要】

業務用蓄熱調整契約適用負荷：9.7kW

- ・氷蓄熱ビル用マルチエアコン（ピークカット型）：10HP×1台
 - ・ビル用マルチエアコン：10HP×1台（蓄熱対象外）
- 氷蓄熱槽：2.2m³

システム図



蓄熱ピーク調整契約：

7～9月の13時～16時に蓄熱式空調システムの蓄熱槽に蓄えた熱を集中利用し、熱源機等を停止して負荷を調整することで電気料金が割引きとなる制度